

Impacting the World

西南学院大学

西南学院中学校・高等学校

西南学院小学校

西南学院舞鶴幼稚園

西南学院早緑子供の園

2015(平成27)年度 学校法人 西南学院 事業計画書

一粒の麦から、次の100年に向かって



 西南学院

西南学院の使命

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

Mission Statement of Seinan Gakuin Educational Foundation

Seinan Gakuin, an educational institution endeavoring to be true to Christ in the pursuit of truth in academic affairs and excellence in character development, strives to equip and nurture students to serve as creative and constructive leaders in local communities and in an expanding global society.

目 次

| | |
|--|----|
| はじめに | 1 |
| I. 学校法人西南学院の事業計画 | 2 |
| 1. 教育理念と目標 | |
| 2. 西南学院のビジョン | |
| 3. 創立 100 周年に向けての取組み “Thanks and Next ～一粒の麦から、次の 100 年に向かって～” | |
| 4. 2015 年度における主な事業計画 | |
| II. 西南学院大学事業計画 | 6 |
| 1. 教育理念と目標 | |
| 2. 中長期計画 第 12 次財政計画 (2014～2017 年度) 学費改定 | |
| 3. 2015 年度における主な事業計画 | |
| III. 西南学院中学校・高等学校事業計画 | 12 |
| 1. 教育理念と目標 | |
| 2. 中長期計画 | |
| 3. 2015 年度における主な事業計画 | |
| IV. 西南学院小学校事業計画 | 16 |
| 1. 教育理念と目標 | |
| 2. 中長期計画 | |
| 3. 2015 年度における主な事業計画 | |
| V. 西南学院舞鶴幼稚園事業計画 | 19 |
| 1. 教育理念と目標 | |
| 2. 中長期計画 | |
| 3. 2015 年度における主な事業計画 | |
| VI. 西南学院早緑子供の園事業計画 | 21 |
| 1. 保育理念と目標 | |
| 2. 中長期計画 | |
| 3. 2015 年度における主な事業計画 | |
| VII. 資料 | 23 |
| 各学校事業及び行事予定 | |

はじめに

1916年、福岡市大名町にて教職員9人、生徒104人からスタートした「私立西南学院」が、現在の学校法人西南学院(以下、「学院」という。)の母体である。1921年には旧専門学校令による高等学部を開設し、1940年、西南保姆学院を開設。第二次世界大戦を経て1947年に中学校、1948年に高等学校を開設、1949年の大学設置へと繋がる。そして、1950年には早緑子供の園(保育所)と舞鶴幼稚園を学院内組織に組み入れたことによって、現在の学院の基盤ができていった。その後、大学の学部・学科や大学院の研究科の充実、中学校・高等学校の男女共学化及び一貫教育の実施等を経て、2010年に小学校を開設し、現在の学院組織が完成した。

創立者 C.K. ドージャーの教育理念は「キリスト教に基づく人格教育」であり、その遺訓である“**Seinan, Be True to Christ** - 西南よ、キリストに忠実なれ-”は、学校法人西南学院の「建学の精神」として現在に継承されている。

1999(平成11)年3月の理事会では、建学の精神を踏まえて、学院の使命として「学校法人西南学院は、『キリストに忠実なれ』の建学の精神に基づいて、真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする」と定義した。学院の各学校・園では、建学の精神と使命を踏まえて、各々の教育理念を分かりやすく伝えることに力を入れており、本事業計画でも各学校・園の章の冒頭に「教育理念と目標」として掲載している。

2015年度は、学院創立100周年まであと1年と迫った時期となり、100周年に向けた各種記念事業、記念行事を計画している。これらの状況を未来に向けた新しい活力の源として、学校法人西南学院及び同法人が設置する各学校・園は、学生、生徒、児童、園児一人ひとりに向き合う、より良い教育を提供することを念頭に掲げて、2015年度の事業計画を作成した。

本事業計画書の構成は、学院本部、西南学院大学、西南学院中学校・高等学校、西南学院小学校、西南学院舞鶴幼稚園、西南学院早緑子供の園における、1. 教育理念と目標、2. 中長期計画、3. 2015年度における主な事業計画から成る。基本的構成は例年のとおりであるが、2012年度からは、3. 2015年度における主な事業計画の中に、それぞれの学校・園における宗教活動部門の計画を含めることとした。言うまでもなく本学院における宗教活動は、キリスト教主義学校としての本学院の各学校・園の根源を成すものとして、創立当初から途絶えることなく連綿と継承され現在に至っている。そこで、2012年度からは、従来、宗教局報告のみに記載してきた宗教活動についても、各学校・園における主な事業として事業計画に含めることが適当と判断し、その活動内容を広く公開するものである。

学校法人西南学院は、2016年の創立100周年に向けて、西南学院の各学校・園では、「**Thanks and Next** ～一粒の麦から、次の100年に向かって～」をキャッチフレーズに、2015年度も様々な活動を展開する。本学院は、建学の精神と使命、そして各学校・園の「教育理念と目標」と「中長期計画」に基づき、2015年度の事業計画を進めていく。

I. 学校法人西南学院の事業計画

1. 教育理念と目標

西南学院は、創立 100 周年(2016 年)を一つの節目として、建学の精神に根ざして積極的に真理を探究し、研究活動を進め、キリスト教に基づく全人格的教育・保育の活動を継続する。そして同時に、激しく変化する学院内外の環境に柔軟に対応し、社会のニーズにも可能な限り応えることができる学院を目指す。

2. 西南学院のビジョン

創立 100 周年という大きな節目を迎えるにあたり、原点といえる建学の精神を現代の視点から見つめなおし、新たに策定した「学校法人西南学院ビジョン 2016-2025」の実現を目指す。

- ① 人間育成 キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践
- ② 教育研究 確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造
- ③ 国際感覚 異文化を受容し、行動できる国際性の修得
- ④ 地域貢献 進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働
- ⑤ 経営基盤 永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

3. 創立 100 周年に向けての取組み

“Thanks and Next ～一粒の麦から、次の 100 年に向かって～”

一粒の麦から始まった学院に感謝し、次の 100 年に向かって、建学の精神をもとに 100 年後も繁栄した学院の基礎を作る。

- ① 保育・教育
建学の精神と一貫した保育・教育理念に基づいて、各年齢段階に相応した質の高い保育・教育を提供し、社会に貢献できる国際的な人材を養成する。
- ② 研究
個人及び共同による基盤的な研究と特色のある研究を活性化、推進し、学术界に貢献する。
- ③ 施設・設備
上記の保育・教育及び研究の発展に寄与し、園児・児童・生徒・学生たちが安全かつ快適に学びを進められるよう施設・設備の充実を図る。
- ④ 経営と財政
迅速かつ適正な判断と行動ができるように経営体制を整備し、それを可能にする財政基盤を確立する。
- ⑤ 社会貢献と地域連携
学院が持つ知的資源の社会への還元を進め、環境問題への取組みを含めて最大限に貢献する。

4. 2015 年度における主な事業計画

(1) 本学院の保育・教育の特色及び研究の強化

- ① 建学の精神に基づく全人格的教育・保育の提供
 - i. 学院聖句の学院内における浸透
キリスト教主義学校として、目指すべき聖書指針を制定し、聖句に込められた

メッセージを西南学院に所属する教職員が理解し、その西南スピリットを保持することにより、学院の使命である世界への貢献を目指す。

2015年度 学院聖句 ヘブライ人への手紙 12章2節（新共同訳）

－ イエスを見つめる Fix our eyes on Jesus －

信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。このイエスは、御自身の前にある喜びを捨て、恥をもいとわないで十字架の死を耐え忍び、神の玉座の右にお座りになったのです。

ii. 建学の精神の教職員への浸透

多くの教職員に、チャペル、朝の祈り会、ファカルティ・リトリート、職員修養会、聖書に親しむ会、教職員クリスマス、アルファ・コースなどを通じて、建学の精神のベースとなっているキリスト教の基本的な理念を理解してもらうよう取り組む。

iii. 宗教局関連の刊行物の発行

キリスト教についての理解を深めてもらうことを目的として、「宗教局報告」「宗教局報」「西南学院とキリスト教」を発行する。

iv. キリスト教精神の地域への浸透

西南学院コミュニティークリスマス、学院コンサートなどを通じて、西南学院のキリスト教精神について、地域の人々への理解を深める。

v. 市内近郊キリスト教会との懇談会の実施

キリスト教に立脚した西南学院が、諸教会の皆様に学院への一層のご理解とご協力をいただくことをお願いし、さらに相互の交わりを深めることを目的として実施する。

② 質の高い保育・教育の提供

時代や環境の要請に応え、社会に貢献できる国際的な人材を育成するために、各学校・園において質の高い充実した保育・教育を提供する。そのために、教職員の能力の向上を図るための研修を充実し、継続して変革できる能力を育成する。

③ 教育・研究の強化のための資金の充実

保育・教育、研究に必要な資金を可能な限り投入する。また、学生生活を支援するために奨学金のさらなる充実を図る。

(2) 西南学院のビジョンに基づく学院全体及び個別中期計画の策定

中期計画は、学院全体中期計画（学院本部に関する事項及び学院全体に関する事項）と各学校・園における個別中期計画（早緑子供の園、舞鶴幼稚園、小学校、中学校・高等学校、大学、大学院、法科大学院に関する事項）によって構成し、個別と全体の調整等を図った上で2015年11月下旬の完成に向けて検討を進める。

(3) 創立100周年に向けた事業の推進

① 記念事業の一つとして、「100周年記念館(仮称)」を建設する。2016年度オープン予定の本施設は、西南学院史資料センター(展示室含む)、同窓会関連施設、多目的ホールなどを備え、建学の精神を継承する拠点、同窓生や地域住民との交流拠点としての役割を目指す。

② 創立100周年を記念した学術シンポジウムや講演会を福岡や東京にて開催するなど、教育・研究成果を社会へ還元することを目的とした各事業を推進する。

③ 創立100周年を機に結成した「西南100th Dream Planners」(大学生20数名および中高生徒会10名にて構成)を中心に、西新・百道地区を含む地域との連携事業を

積極的に推進する。

(4) 校友行政の充実と創立 100 周年記念募金事業の実施

2013 年 7 月に設置した総務部校友課を中心に、学生・生徒・児童・園児及びその保護者、各学校・園の同窓生、教職員など、学院と関係するすべての方々とのつながりを大切にし、その方々とのネットワークを構築し、支援していく。また、創立 100 周年に向けて、大学キャンパスグランドデザインの推進、100 周年記念館(仮称)の建設、グローバル人材育成、各学校の教育環境整備など、更なる学院の発展のために学生等及びその保護者、同窓生、教職員などに記念募金の依頼を継続する。

(5) 広報戦略の策定

- ① 創立 100 周年のキャッチフレーズと 4 つの基本コンセプト(人や地域との絆、感謝・貢献、世界に貢献できる人間教育、時代を先取りする学術研究、守り伝える建学の精神)に基づいて、関東・関西地区を含めた広報戦略を策定してブランドイメージの浸透と向上を図る。
- ② 2015 年度においても「西南学院フェア」を開催する。「西南学院フェア」では、本学院が設置する保育所から大学、大学院各々が施設を公開し、普段は見ることのできない各学校・園を見学してもらうとともに、学校紹介やふれあいイベント、オープンキャンパスなどを通じて、質の高い教育・保育を体感してもらうことにより、学院全体のブランドイメージアップを図る。

(6) 防災対策の推進

災害発生時における学生・生徒・児童・園児、教職員の安全確保に向けて、各学校・園において作成した防災計画に基づき、次のとおり防災対策を推進する。

① 防火・防災避難訓練の充実

各学校・園の消防計画に基づき定期的な避難訓練を実施する。避難訓練実施においては、学生・生徒・児童・園児、教職員の防火・防災に対する意識の向上を目指すとともに、より実践的な訓練を行うことによって、災害発生時の被害を最小限に食い止めるための技能の習得を図る。

② 防火・防災管理の強化

教職員においては、防火・防災関係の資格取得や普通救命救急講習受講を積極的に促進することにより、火災、大規模地震などによる被害防止等を図るための防火・防災管理を強化する。また、自衛消防組織等の災害発生に備えた体制強化を図る。

③ 防災物品・備蓄物品の計画的整備

大学において災害発生時の初動対応、災害対策本部用の防災用品、備蓄品を整備する。また、これに並行して災害発生時に本学が避難所となることを想定し、避難者、帰宅困難者を受け入れた際の食料、飲料水、生活必需品等も計画的に整備する。

(7) エコキャンパスの促進

学院省エネルギー対策委員会や施設課(2014 年 4 月にエネルギー管理従事者を雇用)を中心に、学院全体のエネルギーの管理及び高効率機器の中・長期的な導入を検討する。2015 年度に建設着工を予定している大学新図書館では、外壁レンガによる遮熱対策、福岡市の再生水利用(トイレの洗浄水)、LED 照明や人感センサーの導入、吹抜空間を利用した換気システムの導入、床放射空調の採用を始め、多くの省エネルギー対

策を講じている。上記のハード面による対策に加え、学生・生徒・児童・園児、教職員に対する省資源・省エネルギー、リサイクルの推進及び廃棄物の排出抑制の意識向上を図る。

(8) 健全な財政基盤の確立

校納金の安定的な確保と補助金(経常費補助金・競争的資金)をはじめ、外部資金の獲得、株式会社キャンパスサポート西南からの寄附金や創立100周年記念募金を含めた寄附金収入の増大、安全性を確保しつつもより積極的な資産運用を図ることにより収入の増加を目指す。支出については、株式会社キャンパスサポート西南との連携を強化しながら、考え方、見方、システムや業者の見直しを含めて総人件費と一般管理経費の抑制を図り、決算において基本金組入前収支差額の改善を目指し、キャッシュフローの改善に繋げていく。なお、施設整備計画に当たっては、計画的に引当資産の充実を図る。

(9) 東京オフィスの充実

首都圏での知名度アップ、同窓生の情報収集及び連携強化、首都圏での就職活動支援の強化を目的として2013年1月に開設した「西南学院東京オフィス」(東京都千代田区丸の内1-7-12)は、同窓生、就職活動中の学生、公開講座・講演会の参加者等、これまでに2,000人を超える方々にご活用をいただいている。2015年度も様々な取り組みを実施し、さらなる機能強化を図っていく。

Ⅱ. 西南学院大学事業計画

1. 教育理念と目標

(1) 大学の教育理念と目標

西南学院大学は、教育理念と目標を学則第1条に以下のとおり定めている。

「キリスト教を教育の基本理念とし、深遠な学術研究とそれに立脚した教育を基盤に、学術文化の向上に寄与するとともに、地域、日本、そして世界に貢献できる教養豊かで深い専門知識と創造性を備えた人材を育成することを目的とする。」

(2) 教育の四つの特色の強化

① キリスト教主義に基づく人格教育

「キリスト教学」を通じて、聖書の学問的理解、キリスト教の教理及び倫理思想等の概説等を学び、キリスト教への知的理解を深めることによって学生個々人の良心的な人格の形成を行う。また、大学チャペルでは、人格形成に関する事柄や、人生と社会の諸問題等について、聖書を倫理的な基礎として、様々な角度からの講話を提供する。

② 国際性

国際交流プログラムとして、1年間及び1学期間の派遣留学、私費留学、夏季・春季休暇中の短期語学研修、さらに学内における海外からの留学生との交流等の多様な機会を提供し、異文化を理解する能力、そして異文化社会に適応できる能力、さらに複数の文化的視野を備えるための国際的なコミュニケーション能力を育成する。また、協定校間の教員の派遣・受入れを行い、さらなる国際化を推進する。

③ 少人数教育

学生と教員との人格的なふれあいを重視し、1・2年次ではクラス制を採用し、クラス主任が学生の相談を受け、アドバイスをを行う。また外国語やキリスト教学等の教養的科目、基礎演習等の専門科目で少人数による学修指導を行い、3・4年次の少人数のゼミナールでのテーマ別の研究を通じて大学教育の仕上げを行う。

④ 語学教育と情報処理教育

語学教育の中核である言語教育センターでは、充実したCALL・LL・AV機器と豊富な教材を完備し、これらを活用した語学教育を活発に行い、授業では、映像(インターネット、DVD、ビデオ等)と音声を効果的に用いた実践的な語学教育を行う。

また、情報処理センターでは、7室のパソコン教室や自習用パソコン室を用意し、最新の動向を踏まえた情報リテラシーから高度な情報処理技術まで、幅広く修得できる情報処理教育を提供する。

2. 中長期計画

(1) 第12次財政計画(2014～2017年度)

① 第12次財政計画のテーマ

第12次財政計画のテーマは、「さらなる国際化の推進」である。第11次財政計画から継続している課題や問題、各学部、各研究科、各部署等から調査、収集した要望を基に重要度と緊急度の視点から整理し、「さらなる国際化の推進」のための財政的な措置と、特色ある取組みを創設・育成する。

② 第12次財政計画での事業の概要

期間中に実施予定の事業の中で特徴的なものは以下のとおりである。

| | |
|-----------------|---|
| 新図書館の建設 | 収蔵能力や閲覧席の充実に加え、新たに、アクティブ・ラーニング(学生の主体的・積極的・行動型の学修)に向けたディスカッション・スペースやプレゼンテーション・スペース、また、滞在支援のための飲食コーナーを設ける。 |
| 国際化のさらなる展開 | 国際交流協定校や語学研修校の拡大、海外の大学との共同授業や海外学修・研究する機会の拡大、語学試験対策講座や語学試験補助の実施等を通じて、国際化のさらなる展開を図る。 |
| 国際交流システムの構築 | インターネットを活用し、学内においても、海外の大学との共同授業や海外の学生団体との交流を可能にする。学内にいる外国人の先生や留学生との交流に加え、海外にいる先生や学生との交流から学べる機会を広げる。 |
| 教育・学修支援制度の充実 | 基礎学力の不足や学修姿勢の未確立(教員から一方的に教えられることが多い高校までとは異なり、大学では自主的な学修が求められる)の解消に向けた、入学前教育や導入教育・初年次教育の充実を支援する。また、より効果的な教育や学修支援に向けた学生アシスタント等の養成・活用を支援する。 |
| 教育・研究の質的向上を図る資金 | 前回の第11次財政計画においても、この「教育・研究の質的向上を図る資金」を設け、学内GP・教育インキュベートプログラム等の教育・学修を支援する制度の充実を図り、学生のさらなる成長を実現する様々な特色ある取組みを創設・育成してきた(教育・研究推進機構ホームページ参照)。今回の第12次財政計画においても、継続して特色ある取組みを創設・育成する。 |
| その他の施設設備整備 | 中長期の施設設備整備計画であるキャンパスグランドデザインのもと、緑に囲まれた自然環境の中で心静かに熟考する空間(コートヤード等)、学生・教職員・地域住民による交流を育む空間(エントランスアベニュー等)を設け、新たな「知」を創出する環境を整備する。 |

(2) 学費改定

第 12 次財政計画に沿って、前年度に続けて下表のとおり学費を改定する。なお、入学時の負担軽減等を考慮し、入学金は減額するとともに、2013 年度以前に入学した在学生については、授業料のみの改定に留めている。

<2014 年度以降に入学する新入生> (単位：円)

| 学費項目 | 改定前 | 改定後 |
|-------|---------|---------------------|
| 入学金 | 270,000 | 200,000 |
| 授業料 | 720,000 | (2014 年度) 740,000 |
| | | (2015 年度以降) 750,000 |
| 施設費 | 130,000 | 170,000 |
| 教育充実費 | — | 40,000 |

3. 2015 年度における主な事業計画

(1) 教育と研究の充実と強化のために

① 人格教育の強化

i. 大学宗教部活動の充実

a. チャペルアワーの実施

授業期間中の毎週 3 回(火・水・木)、週テーマに基づいた講話を中心にキリスト教の礼拝形式で実施する。個人の主体的な課題である人格形成に関する事柄や、人生と社会の諸問題について、聖書を倫理的な基礎として、様々な角度からの講話を提供する。また、年 2 回春と秋には、内外からの様々な分野で活躍する著名なキリスト者を講師として招いたキリスト教フォーカス・ウィークを実施する。

b. 大学宗教部関連の行事

- ・クリスマス行事(クリスマスツリー・ディスプレイ点灯式、キャンドルサービス)
- ・ファカルティ・リトリート(対象：大学教員)

ii. ボランティアセンターによる働きの推進

大学ボランティアセンターは、ボランティア活動を建学の精神の具現化及び大学の社会貢献の一つと位置付け、学生、教職員等によるボランティア活動を支援・促進することを目的として、学内外において様々なボランティア活動を行う。

特に、東日本大震災に対しては、被災地の復旧、復興の支援の一つとして、被災地でのボランティア活動を次の目的をもって実施する。

- a. 被災地での被災者の支援を行うこと
- b. 支援活動を通じて学内でのボランティアの育成を行うこと
- c. 本学の建学の精神である、「キリストに忠実なれ」の実践と、若者の社会参加に活かせる精神を涵養すること

② カリキュラムの充実(体系的・構造的な教育課程の編成と共通教育の整備)

学生便覧へ掲載した履修モデルを再確認して適宜修正を加えるとともに、体系的な教育プログラムを実現するために、他大学の調査等を行いながら、ナンバリング(科目コードの付与)の導入に向けて検討する。

また、新しく設置された共通教育検討委員会で、共通教育に関する諸問題の調査、適正な解決策の検討及び解決支援並びに共通教育センターの設置準備について検討を行い、答申書を作成した。2015 年度は、共通教育委員会を設置して、共通教育の意義、位置付け、入学前教育及び導入教育、学修支援などを審議し、具体的に展開する。

③ 国際化の推進

- i. 学士課程教育の国際化を実質的に展開することを目的として、プログラムを検討し、段階的に整備を進める。

その一環として、言語教育センターの施設・設備及びメディア教材等の利用促進を図る。全学生に年間最低1回のTOEIC(公開テスト又はIPテスト)の受験を奨励し、各年次の目標スコア到達を目指し、英語コミュニケーション・スキルのレベルアップを図る。受験者には受験料の全額又は半額程度の補助に加えて語学検定対策講座の受講料補助も行い、英語学習を側面から支援する。なお、受験料補助については、TOEIC以外にTOEFL、IELTSの語学検定試験に対しても適用する。

また、新たに商学部を加え、全学部の新生を対象に英語のプレースメントテストを実施し、クラス分けや学習指導に活かす。この他にも、語学実習、English CaféやLanguage Leagueなど授業以外の自由参加のイベントにより、外国語会話等の適応能力を高める訓練を行う。

- ii. 2015年度より、アメリカのベルモント大学、イギリスのウィンチェスター大学、ドイツのケルン大学、デュースブルク・エッセン大学、イタリアのシエナ外国人大学、アイスランドのアイスランド大学、オーストラリアのディーキン大学及び台湾の輔仁大学との交流を新たに開始し、協定校は17か国49大学となる。その結果、2015年度は79名の海外派遣留学生を派遣することになる。

また、留学生別科では、各協定校から毎年約80名を受入れ、スタディー・アブロード型プログラムによって、日本語の他に、日本文化や経済等に関する約20科目を英語で提供している。

なお、本学における学部教員(202名)のうち外国人教員が占める割合は約11.4%(23名)となっている(2015年4月1日現在)。

④ 入試制度の充実

入学者の質の向上と量の確保のために、受験生や社会のニーズに基づき、入試制度の充実を図る。2015年度については、一般入試における同一日併願を法学部でも導入するとともに、TOEFLやTOEICなど英語の外部資格試験を各種入試に積極的に活用することを推進する。

⑤ 学生サービスの充実

正課外教育の充実のために、西新キャンパスと田尻グリーンフィールド間のシャトル便として利用している保有バスを1台から4台に増やし、田尻グリーンフィールドを利用する学生の利便性を向上させる。またバスは、遠征その他の目的にも利用して、移動手段の利便性向上に加え、経費削減にも貢献する。

⑥ 大学間連携の強化

- i. Q-Links(九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク)、福岡西部地区五大学連携等の複数の大学間連携事業を継続的に推進する。
- ii. 本学大学院法学研究科は、エクスマルセイユ大学大学院法学研究科との覚書(修士課程・博士課程の学生に主として日本法、ヨーロッパ法を修得させる)に基づき、フランスからの外国人留学生受け入れ事業を継続的に取り組んでいく。

⑦ 新分野の教育・研究組織の在り方の検討

西南学院の使命を実現すると共に、より広く社会からの要請に応えるために本学として何をすべきか、その方策が求められている。現在の大学を取り巻く様々な環境を踏まえ、全学的な視点に立った委員会(学長諮問機関)を立ち上げて、新しい分野の教育・研究組織の在り方を検討する。

⑧ 大学院強化

人間科学部心理学科の卒業生を大学院で受入れ、臨床心理士資格を取得させるために、人間科学研究科に臨床心理学専攻を2016年4月に設置する申請手続きを進める。また、臨床心理士受験資格を付与する教育施設として、日本臨床心理士資格認定協会から指定を受けるために、2015年度に臨床心理センターを設置し、相談業務を開始する取り組みを進める。

⑨ 教育・研究支援

i. 内部質保証システムの構築

大学基準協会が提唱する「内部質保証システム」を基本に、全学及び各学部・学科・専攻、研究科、各部局、センター等の課題を抽出し、「評価指標」と「行動計画」を提示して、2013年度の目標設定を完了した。それを元に作成した目標設定シートを用いて自己点検・評価を実施した。また自己点検・評価の実施に当たっては、今年度から運用を開始した「自己点検・評価システム」を利用した。自己点検・評価の基本的な体制ができあがり、今後は、大学の改革・改善につながる実質を伴った自己点検・評価活動を推進する。

ii. 教育・研究推進機構の活動

- a. 教育インキュベートプログラムにより、特色ある教育の充実と強化を進める。また、研究インキュベートプログラムにより、引き続き研究の充実と強化を推進する。併せて、科学研究費助成事業をはじめとする外部資金や公的資金の適正な獲得のためのセミナーを実施するとともに、外部資金や公的資金の適正な管理を行う。
- b. 大学改革フォーラムを継続して開催し、法令や政策の動向を確認・理解するとともに、教育・研究に関するセミナーやワークショップにも参加し、本学固有の課題への対応方法を検討する機会として活用する。なお、文部科学省等の政策や法令の動向を確認して、プログラムの再構築を進める。

iii. 教育と学修支援の充実

- a. 入学前教育や初年時教育を全学的に実施できるように支援する。特に、授業支援と学修支援においては、SA・TAを有効に活用し、より一層の充実を図る。
- b. 学生証を利用した学修支援のための授業出席調査システムの導入に向けて、他大学等の調査や学内調整を開始する。
- c. ICTを活用した教育の支援を目的とし、2013年度から計画的に実施しているマルチメディア教育機器の更新(新デバイスへの対応)を引き続き実施する。また、学生の利便性を向上させるため、スマートフォン専用のポータルサイトを提供する。

iv. 大学奨学基金の充実

大学給付奨学金の財源を充実させ、多様なニーズに対応した学生支援を行う。また、「教育研究振興基金」を充実させ、教育と研究の質の向上と特色強化を行う。そのための基金として1億円を積立てる。

(2) 社会貢献の充実と強化のために

① 生涯教育の充実

前期・後期に区分して公開講座、リカレント講座、西南コミュニティーセンター主催講座を開講する。

② 博物館の充実

春季特別展では、東北学院大学博物館と大学博物館共同企画Ⅴとして交換展示、秋季特別展では、九州のキリスト教シリーズⅥ「南蛮－NAMBAN」を開催する。また、「古写真でみる西南学院」や博物館実習受講生による企画展を実施する。併せて、特別展関連公開講演会や「せいなんこどもワークショップ」なども行う予定である。

(3) 教育と研究の環境整備のために

① 大学キャンパスランドデザインの推進

2011年度末に策定された「西南学院大学キャンパスランドデザイン」に沿って、下記の計画を進める。

i. 新図書館の建設

図書館の老朽化に伴い、新しい図書館を旧本館跡地に建設する。2017年度オープンを目指し、2015年5月に建設工事を開始する予定である。新図書館は、新たな機能として、学生の主体的な学修を支援するラーニング・コモンズを備え、物的・人的な支援を行うと共に、学生がリラックスし長時間滞在できる空間の提供を目指す。また、2014年6月に取得した修猷館高校同窓会館跡地を含む新図書館周辺は、一般市民にも開放された公開空地とする予定である。

ii. エコキャンパスの推進

大学環境マネジメント委員会の活動を充実させ、省資源、省エネルギー、環境物品等調達の推進及び廃棄物の減量と適正管理に努め、環境負荷の低減に取り組む。

施設・設備面では、老朽化した1号館西棟及び図書館新館部分の空調設備の取替えを行い、省エネルギー化を図る。さらに女子学生寮の補修工事の一環として、各寮室の便器を最新式の節水型に取替えを行う。

上述の新図書館をはじめ、今後建築する建物については、太陽光発電パネル、屋上等の緑化、再生水の利用、人感センサー設置、省エネタイプの空調機器や照明器具の採用を検討し、より効率的な設備の導入を図る。このほかに、大学受動喫煙防止対策に関する委員会と連携し、キャンパス内の完全分煙化に向けたクリーンなキャンパスづくりを推進する。

iii. 将来の施設建設資金の確保

新図書館、新学術研究所及び新講義棟の建築資金並びに体育館及び西南会館の改築資金を、各施設・設備の整備予定年度を考慮して計画的に積み立てる。

② 情報処理環境の整備

利便性の向上と学修者の主体的、能動的な学修への参加を目的とする「アクティブ・ラーニングの支援」に重点を置き、西南学院大学総合情報ネットワークシステム(SAINS)を更新する。

Ⅲ. 西南学院中学校・高等学校事業計画

1. 教育理念と目標

西南学院の建学の精神は、創立者 C. K. ドージャー先生による“Seinan, Be True to Christ — 西南よ、キリストに忠実なれ—”という言葉に示されている。この精神を大切にすることこそが学院の使命であり、役割である。本校ではこの精神を守るべく、チャペルを柱とするキリスト教教育を行い、次のような教育目標を掲げている。

(1) 愛の精神を養い、隣人(他者)に仕える。(「隣人を自分のように愛しなさい」ルカによる福音書第10章27節)

私たち一人ひとは神に愛されているかけがえのない存在である。そのような私たちには、自分自身の命を大切にし、与えられた人生を有意義に過ごすことが求められている。また、人は共に生きる存在であり、一人では生きられない。それゆえに本校の生徒に願うことは隣人性(他者性)を大切にすることであり、隣人とよき関係をつくることである。聖書に「**隣人を自分のように愛しなさい**」(ルカ 10:27)とあるように、愛の精神を養い、隣人に仕え、共に生きること、この高い志こそが生徒たちのこれからの人生を豊かにし、未来を切り開くものであると考える。

(2) 賜物を生かし、平和を作り出す。(「平和を実現する人々は、幸いである」マタイによる福音書第5章9節)

また、私たち一人ひとりには神から多くの賜物(能力・個性)が授けられている。それに気づき、よく磨き、隣人に仕えるという精神のもと、それをどのように生かすかを考えることも本校の生徒の課題としたい。私たちの周りには戦争や暴力、人権侵害、環境破壊、貧困など、克服すべき多くの問題が存在する。21世紀に生きる私たちには、これらの問題に対しどのように向き合うのかということが問われている。聖書に「**平和を実現する人々は、幸いである**」(マタイ 5:9)とあるように、私たちは生徒たちが将来、各自の賜物を生かし、身の回りの人々のこと、さらには社会の状況を考え、よりよい世界を作り出すために行動できる心豊かな人間に成長することを強く願うものである。

中高生の年代は人生の土台づくりの時代である。多感なこの時期をどのように過ごすかがその後の人生に大きな影響を与える。〈さなぎ〉の中から美しい蝶がはばたくように、生徒一人ひとりが志を持って自立していくことを願いながら、日々の学校生活に寄り添うことをわれわれ教師の使命と考える。

2. 中長期計画

少子化や経済事情などを背景として、私立学校を取り巻く環境は依然として厳しいままである。加えて、周辺私学の男女共学化という状況変化も重なり、入学志願者数の維持と入学定員の確保が重要な課題となっている。本校も強い危機感を持って、優秀な生徒の確保のためこれまで以上に、教育内容の充実を中心とした教育環境の整備や広報活動の強化などに取り組みなければならないと考えている。

西南学院小学校から西南学院中学校への生徒受け入れについては、小学校校長推薦という形で2014年4月から58名の生徒を第一期生として受け入れた。これに合わせて西南学院中学校学則に定める生徒定員と学級数についても見直しを行い、一学年220名、6クラスと改めた。今後は、西南学院中学校・高等学校入学後の学業面の推移、特に一貫生の学業成績、さらに生活面での動向などの情報を集積し、小中高のより良い連携や教育内容の充実につ

いて検討しなければならない。さらには、西南学院大学との所謂「高大連携」についても研究を進めていく必要があると考えている。

国際化への対応としては、高等学校における交換留学制度、海外の大学等への進学希望者や外国人生徒の受け入れを想定したクラスの新設などについても、調査・研究を進めていきたい。

またICT教育への対応として、電子黒板の導入やタブレット端末の活用などについて調査・研究を進める。

施設面に関しては、2003年度に西新校地から百道浜校地に移転して12年が経過し、施設設備の経年劣化が進んでいることから、建物維持の検討及び修繕を実施する時期を迎えている。また、同時に教育設備の更新や転用などについても併せて検討・実施する必要がある。2013年度に設置した体育館アリーナ1・2の空調機器について運用規則を定め、2014年度から利用を開始した。一方では電気・ガスの使用量が増加しており、LED電燈への取り換えやなど省エネ対策の検討・実施が大きな課題である。今後の施設・設備の修繕・更新・新設などの計画については、財政計画も含めて多方面から検討を進める。

主な中長期計画として、具体的に次のものが計画されている。

2015年度 グラウンド等の整備(100周年記念事業)、校舎 4階部室ビレッジの大規模改修
2016年度 体育館全館への空調機器の設置、校舎全体の空調機器の交換
2017年度 屋内長尺シート類の張り替え

3. 2015年度における主な事業計画

(1) 学校評価の検討

自己評価、外部評価についての研究を引き続き行う。

(2) キリスト教教育プログラムの推進・充実

本校の建学の精神の具現化、教育目標のキリスト教教育の側面からの取り組みとして、下記の主要行事をはじめとするプログラムを推進し、その充実に努める。

① チャペル

聖書に基を置き、中高生の成長過程を考慮した月主題カリキュラムのもと、中学、高校各学年別に週1回、礼拝を行う。

② ミッションウィーク

前期・後期の2回、キリスト者として平和・人権・伝道の分野で活躍しておられる方を講師として迎え、3日間(中学前期のみ2日)連続の特別講話をうかがう。自身の生き方・使命を考える時となるよう励ます。

③ ボランティア活動

年2回の施設訪問・活動を中高合同で企画すると共に、推薦入学決定者を対象とする体験学習を1月に実施する。恒例のクリスマス街頭募金と共に、災害発生時の被災者支援を目的とする緊急募金等にも引き続き取り組む。

④ 平和教育、人権・「同和」教育

中高6か年にわたって取り上げる内容を定めたカリキュラムによって今日における人権諸課題を学ぶ。韓国ハヌル教会(メソジスト派)との協力関係の中で回を重ねている平和研修「韓国への旅」・「韓国からの旅」を中高合同で計画・実施すると共に、中学では平和に関する映画鑑賞や特設LHRを行い、中3修学旅行を沖縄での平和学習を主とした内容で実施する。

(3) 中高中期計画の策定

2014年度に策定された「学校法人西南学院ビジョン」を踏まえ、中高の教職員によって構成される「中高中期計画検討委員会」を中心に、中高一貫教育の検証やキリスト教学校を取り巻く社会状況、さらには社会変容にともなう新たな課題等への取り組みについて検討する。その検討の中で本校における教育が目指すものを明確にし、教職員が共有すること、また同時に、中期という向こう10年のみならず、さらに将来のことを見据え、教育内容及び経営の充実に向けた問題意識をも醸成する。

(4) 奨学事業の充実

2008年度から3年をかけて3億円の奨学基金の積み立てを行い、2014年度からその基金運用益を原資として新たに新生を対象とした奨学金(施設拡充費の半額相当額)給付制度の運用を開始し、中学の新生8名、高校の新生24名に奨学金を支給した。今後は、より安定した奨学事業財源の確保と有効活用を図るため、2014年度から3年をかけて更に3億円を奨学基金として積み立てて総額6億円まで増額する。また、奨学金事業の広報に努め、経済支援の充実を図る。

(5) 建物、設備の修繕・改修計画の策定

中高後援会の協力のもと100周年記念募金事業として中高グラウンドの排水設備や防球ネット等の改修工事を2015年度から2016年度にかけて実施する。また、懸案となっている4階部室ビレッジの改修や理科教室の増設について、具体的な設計に着手する。

さらに、今後の建物、設備の経年劣化に対応するため、計画的に修繕・改修を進めていく。

(6) 事務システムの開発

2009年度後期から約1年間をかけて学籍及び教務関係並びに入試に関するシステムの開発を行い、2013年度からは経理関係や庶務関係の事務システムの開発に取りかかった。2014年度末までにすべてのシステム開発を完了する予定であったが、一部については2015年度まで開発作業が継続となった。完了後は業務の効率化と本部・大学の事務システムとの平準化を図ることが可能となる。

(7) 中高一貫教育体制の再点検

2015年度は高等学校が男女共学に移行して22年目、また、創立100周年を迎える2016年度は中学が男女共学に移行し、さらに中高が一貫教育を開始して21年目を迎える年度である。これを機に、中高それぞれの教育課題、校務分掌、学校行事等の見直しを行い、より強固な中高一貫体制の確立を図る。

(8) 西南学院小学校との連携について

2014年度から、西南学院小学校からの推薦入学第一期生を受け入れた。今後も継続して「小中高連携検討委員会」や小中高の関係教員との情報交換などを実施しながら連携し、当面の諸課題に取り組んでいく。

(9) 広報活動の充実

2014年度から中学校と高等学校の広報部として新たな体制で広報活動に取り組み、各種広報ツールのリニューアルや中学の学校説明会を高校のオープンキャンパスに合わせた形で実施するなどの改革・改善を進めた。今後、ホームページ等を通じてタイムリ

一な情報発信に力を入れるとともに、受験生や保護者などのステークホルダーの関心を意識した調査・研究を行う。

(10) 進路指導の充実

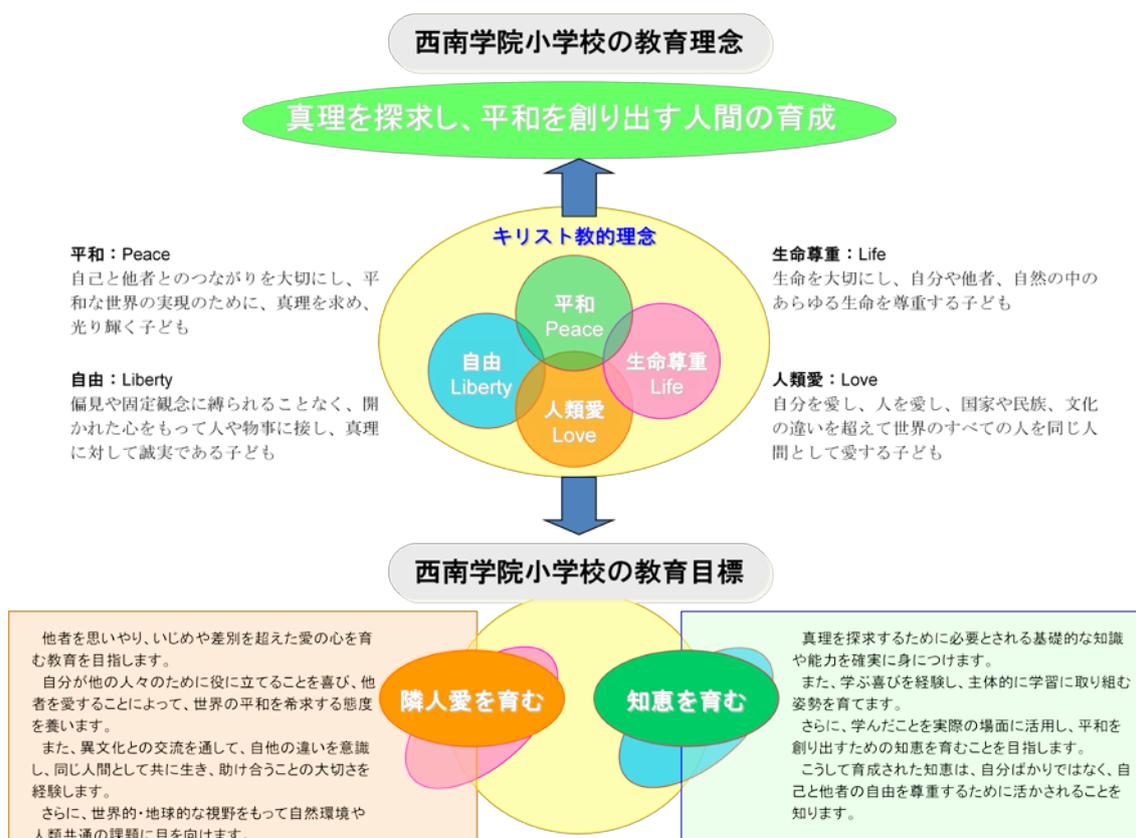
2014 年度からこれまで中学校と高等学校それぞれに設置されていた進路指導部を統合し、中高一貫教育 6 年間における進路指導體制の充実を図った。2015 年度においては、一貫教育の検証をもとにした様々な課題について、進路指導主任を中心に具体的な改善策を検討する。また、進路指導部における事務サポート体制の強化を図る。

IV. 西南学院小学校事業計画

1. 教育理念と目標

小学校の教育理念及び教育目標については、“Seinan, Be True to Christ — 西南よ、キリストに忠実なれ—”という西南学院の建学の精神を基盤としながら、小学校に相応しい内容となるように策定している。

具体的には、小学校の設置にあたり院長が提示したキリスト教的理念(Peace：平和、Life：生命尊重、Love：人類愛、Liberty：自由)から、小学校が目指す子ども像を導き出し、それを基盤として検討を重ねた結果、教育理念を「真理を探求し、平和を創り出す人間の育成」、教育目標を「隣人愛を育む」「知恵を育む」と定めている。(下図参照)



2. 中長期計画

(1) 教育目標の達成

毎朝の礼拝や宗教の授業、キリスト教に関する諸行事等を通して、低学年時から高学年に至るまで、キリスト教への理解を深める教育を行うことにより、隣人愛を育んでいく。

また、日々の学習習慣をしっかりと身につけさせ、児童の学力向上を図るとともに、実践授業や体験活動を通して、学んだ知識や技能が生かされることにより、知恵を育む。

このことにより、小学校で学んだ児童全員が学習面及び生活態度面の両方において教育目標を達成し、西南学院中学校へ進学できるように成長することを目指す。

(2) 教員の質の向上

教科ごとの指導方法研究、教員間の公開研究授業(参観)の実施、学内研修やキリスト教学校教育同盟等の諸団体が主催する外部研修への参加、授業評価などを通して、教員のスキルアップを目指す。また、新任教員や経験が浅い教員に対する育成システムの構築を図り、これらの内容を纏めた研究紀要を発行する。

さらに、礼拝等を通してキリスト教への理解を深めることにより、教育力だけではなく、キリスト教主義学校に勤務する教員に相応しい倫理観の育成に努める。

(3) 財政基盤の確立

入学志願者の増員を図る努力を継続して行い、入学定員を充足させ、安定した授業料収入を得るとともに、寄附金収入の割合を増加させる方策を講じるなど、財政基盤の確立を図る。

また、教員の採用にあたっては、年齢配分や適正な人員配置などに留意して計画的に雇用を行い、人件費支出の抑制を目指す。

3. 2015年度における主な事業計画

(1) 授業時間の確保と教育効果の検証

児童の学力向上を図るために、教科教育と実践授業・体験活動の時間配分を効果的に行うことで、各教科の十分な授業時間を確保する。また、アチーブメントテスト等の結果を精査して、教育効果の検証を行う。

(2) 教育プログラムの改善・充実

ネイバーキャンプ、ネーチャーキャンプ、ヒストリーツアー、スポーツフェスティバル、ウィングツアー、アセンブリー及びランチ指導などの年間行事の検証を行い、教育内容の精査・改善・充実を図るとともに、児童一人ひとりの充実した学びを推進するため、教育プログラムの最適化を図る。

また、本校卒業生の大部分が進学している西南学院中学校との連携を深め、教職員や児童・生徒間の交流活動をより充実させる。

(3) 宗教活動の充実

① 毎日の学校生活の中で

- i. 毎朝のチャペル 8:30~8:45 (4・5・6年生) 8:45~9:00 (1・2・3年生)
講話：月・水・金(聖書科担当)、火(教頭)、木(校長)
- ii. ランチタイム 食前と食後の祈り
- iii. 帰りの会での祈り
- iv. 聖書科授業(全学年週1回)

② ミッションウィーク(春・秋の2回)

- i. 外部より講師(牧師)を招聘し、2日間特設のチャペルを行う。
- ii. 秋には、保護者対象のチャペルを行う。

③ 感謝訪問(春：花の日チャペル 秋：サンクスギビングチャペル)

朝のチャペルのあと、持ち寄った花や手作りのクッキー等を持ち、学院内外の日頃お世話になっているところを訪問する。

④ クリスマス

- i. クリスマスツリー点灯式
- ii. クリスマスチャペル(クリスマスメッセージ、1年児童によるページェント、6

- 年児童による賛美、保護者と合同礼拝形式)
 - iii. クリスマス献金の呼びかけ(児童、保護者)
 - ⑤ 職員聖書研究会
- 1年間に5回、外部より講師を招聘。

V. 西南学院舞鶴幼稚園事業計画

1. 教育理念と目標

理念：キリスト教保育を通し、思いやりの心を培いながら、ひかりの子として個性豊かにのびのびと生きていく力を育む保育を実施する。

目標：① 神に愛されている自分を知り、他の人たちを愛する喜びと生命の大切さを知ることになる(キリスト教保育)。

② 明るくのびのび活動する中で、丈夫な心と身体を育て、楽しく仲間づくりをする(のびのび保育)。

③ 障がいをもった子どもと共に育ちあうことを目指す(統合保育)。

④ 年齢の異なる子どもたちが一緒に遊び、親しく交わる(たてわり保育)。

2. 中長期計画

(1) 保育の質の向上を目指し、定期的に大学人間科学部の教員の指導を受けながら、園内研究会をより充実させる。

(2) 施設設備や自然環境に恵まれた幼稚園の機能を生かした「親子であそぼう会」「園庭開放」「育児相談会」などの子育て支援を充実させる。

(3) 「子ども子育て新制度」について学びながら、早緑子供の園と一緒に西南学院の園としての対応を考える。

3. 2015年度における主な事業計画

(1) 2013年に発刊した年間カリキュラムを実際の保育の中で確認、検討していき、更に充実した内容としていく。

(2) 2011年度に行われた施設点検に基づき、計画的に必要な修理を行っていく。また、2013年度に作成した幼稚園の資産管理、備品用品の購入と構築物を含めた保全のシステムに基づき、今後は施設課の力を借りながら、教職員全員で資産管理に取り組む。

(3) 防災計画の促進

災害発生時における園児、教職員の安全確保の充実を図る。また、園内の危険区域の確認や環境設備点検を定期的に行い、職員の危機管理意識を高める。

(4) 宗教活動、行事について

① 園児は毎日クラスで礼拝を守り、毎週月曜日は教会学校として聖話を聞いたり、献金を捧げる。

② 各学年で毎学期、鳥飼バプテスト教会に出かけていく。礼拝堂で牧師先生のお話を聞く。

③ 早緑子供の園との合同礼拝として、6月の花の日礼拝と11月の感謝祭礼拝を行い、日頃お世話になっている方々にお花や果物を届け、感謝の気持ちを伝える。

④ クリスマスには、保護者と共に守るクリスマス礼拝の他、各学年のクリスマスを祝う会を催す。特に年長の光組はイエス・キリストの降誕劇を通して全園児、また

保護者や来賓にクリスマスの意味を伝えることを経験する。

- ⑤ 卒業礼拝は3月の始めの日曜に全園児、保護者の方々と守り、お祝いとお誘いに来てくれる鳥飼バプテスト教会の教会学校の子どもたちと交流の時を持つ。
- ⑥ キリスト教の信仰、家庭、子育てについて保護者が学ぶ機会として毎週開催される父母礼拝や、園児と共に運動会その他行事や参観の中で守る礼拝を通して、保護者のキリスト教保育への理解を深める。

VI. 西南学院早緑子供の園事業計画

1. 保育理念と目標

西南学院の保育所としてキリスト教を土台に、この時代に生きる子どもの健やかな成長を保障する。一人ひとりを大切にする保育を目指し、長時間保育の様々な場面で、子どもたちの真の自立を援助する。

2. 中長期計画

- (1) 西南学院の乳幼児教育施設として、現代の保育所に求められる役割や使命を果たすため、新たな保育制度の施行も視野に入れながら、様々な観点から将来像を模索する。
- (2) 現園舎建築時からの、年齢別園児の人数割りや子どもの発達自体の変化を鑑み、施設・設備の改築などの必要性を優先度に沿って検討し、計画・実行に取り組む。
- (3) 人員体制としての強化を図るため、園の職員全員の組織化を見直す。

3. 2015年度における主な事業計画

(1) 保育の充実

各職員が早緑子供の園の保育方針や子どもの発達の捉え方などについて共通理解のもとに、6年間を見通しての保育が進められるように改編した保育課程(2012)を、さらに実践へと結びつく形で見直していく。また、保育計画の様式を見直し、計画—実践—評価が効率よく繰り返されるよう、保育実践体系を構築する。

(2) 保育所情勢

保育協会などが開催する研修会や勉強会などに積極的に参加し、認定子ども園への移行に関する事項も含めて新しい情報を得ながら必要に応じて検討の機会を持つ。また、園内でも勉強会等の機会を持ち、職員間で情報を共有していく。

(3) 西南学院大学・西南学院小学校・西南子どもプラザとの連携

大学人間科学部(児童教育学科・社会福祉学科)の保育実習生を多く受け入れ、西南学院で学んだ保育者を社会に排出する一助を担う。また現状に加え、さらに共に学びあうことができる機会・場を検討し、積極的に連携の強化を図る。

(4) 舞鶴幼稚園との連携

西南学院の乳幼児保育・教育施設として、両園が同じ敷地内に存在する意義を確認できるように、研修会・合同行事など、実行可能なことから実践していく。また、保育・教育面はもとより、施設設備に関する事項や地域への貢献も含め、体系的に課題を整理する。

(5) 施設・設備

2011年度に行われた施設点検を基に、今年度も引き続き必要な修理を計画的に行う。また、食品衛生面と労働環境の観点から、厨房の空調設備の整備を行う。経年劣化した機器備品を計画的に入れ替えていく。

(6) 地域への貢献

園行事を積極的に地域にも開放したり、地域の公民館の子育てサークルにおける育児支援に参加するなど、地域の子育て支援の機会を持つ。地域に開かれた保育所としての役割を果たす。

(7) 宗教活動・行事

① イースター礼拝：4月

幼児クラスで礼拝を守った後、卵のお菓子探しをして祝う。

② 舞鶴幼稚園との合同礼拝：花の日(6月)、感謝祭(11月)

幼児クラスの子どもたちが、舞鶴幼稚園園児と共に礼拝を守る。その後、日頃お世話になっている方々に、花や果物を届ける。

③ クリスマス行事

i. アドベント礼拝・ツリー点灯式：11・12月(アドベント第一週の月曜日)

クラスでのアドベント礼拝、全体でのツリー点灯式を行う。この日から毎日アドベントカレンダーの窓を開け、クランツに火を灯しながらクリスマスを迎える準備を進める。

ii. こひつじクリスマス(乳児クラス)：12月

クラスごとに保護者も一緒に礼拝を守り、降誕のお話を人形や大型絵本などで観る。その後会食をしてクリスマスを祝う。

iii. クリスマスメッセージ・さみどりクリスマス：12月

保護者対象のメッセージの後、子どもたちがキャンドルサービスや降誕劇を行い、クリスマスの喜びを伝える。

④ 鳥飼バプテスト教会礼拝

幼児クラスの子どもたちが毎月鳥飼教会に出かけ、礼拝堂で牧師先生に神様の話をさせていただく。また、3月には年長児が卒園礼拝を守る。

⑤ 聖書を学ぶ会・平和教育実践

i. 職員対象

年に4回、リディア・ハンキンス宗教主事を招き、月の聖句の背景や意味、子どもたちへの伝え方について学ぶ。また、西南学院創立100周年を見据え、西南学院におけるキリスト教保育の実践園としての使命を果たすべく、歴史を学ぶと共に、これからの時代に、命を尊び平和を追求する心の土台をいかに育むことができるかを、職員一人ひとりが積極的に考えるきっかけとなるような、学びの機会を持つ。

ii. 実習生対象

西南学院大学の学生が実習期間(年3回)に、リディア・ハンキンス宗教主事にキリスト教保育についての話をさせていただき、共に学ぶ。

⑥ 保護者対象

キリスト教保育の意味を日々の保育や子どもの姿から伝えていく。行事の折には最初に礼拝を守り、保護者にも参加していただく。

VII. 資料

各学校事業及び行事予定 [2015(平成27)年4月1日～2016(平成28)年3月31日]

| | (1) 学院本部・事務局 | (2) 大学 |
|-----|---|--|
| 4月 | ・新任教職員オリエンテーション ・キ学教同盟西南地区協議会総会 | ・入学式 ・オリエンテーション ・前期授業開始 |
| 5月 | ・学院創立記念式典 | ・九州六大学野球春季応援合戦 ・留学生別科終了式 ・学院創立記念式典 |
| 6月 | ・キ学教同盟総会 ・日本バプテスト連盟事業体懇談会 | ・春季キリスト教フォーカス・ウィーク |
| 7月 | ・キ学教同盟事務職員夏期学校 | ・入試説明会 ・前期試験(～8月) |
| 8月 | ・キ学教同盟西南地区夏期学校 ・キ学教同盟西南地区新任教師オリエンテーション ・キ学教同盟西南地区校長会 ・キ学教同盟西南地区事務職員研修会 ・職員夏期修養会 | ・オープンキャンパス ・夏季休暇 ・留学生別科入学式 ・法科大学院入試 |
| 9月 | | ・修学懇談会 ・教職員懇談協議会 ・大学院秋期入試 ・前期卒業証書・学位記授与式 ・後期授業開始 ・ホームカミングデー |
| 10月 | ・伝道者養成に関する協議会 | ・3年次転・編入等、帰国生入試 |
| 11月 | ・キ学教同盟西南地区事務長会 ・キ学教同盟学校代表者協議会 ・日本バプテスト連盟定期総会 | ・大学祭 ・秋季キリスト教フォーカスウィーク ・各種推薦等、2年次転・編入、外国人入試 |
| 12月 | ・西南学院教職員クリスマス ・西南学院コミュニティークリスマス | ・キャンドルサービス ・冬季休暇 |
| 1月 | ・キ学教同盟西南地区校長会 | ・大学入試センター試験 ・後期試験 |
| 2月 | | ・一般入試、センター試験利用入試(前期)、 一般入試及びセンター試験併用型入試 ・一般入試、センター試験利用入試(前期)、 一般入試及びセンター試験併用型入試合格発表 ・大学院春期入試 ・法科大学院入試 |
| 3月 | | ・センター試験利用入試(後期)合格発表 ・ファカルティ・リトリート ・卒業礼拝、卒業証書・学位記授与式 |

※キ学教：キリスト教学校教育同盟

| | (3) 高等学校 | (4) 中学校 |
|-----|---|--|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・始業式 ・新入生オリエンテーション ・保護者学校説明会 ・保護者進路説明会 | <ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・始業式 ・1年学院紹介オリエンテーション ・学年・学級保護者会 ・2年集団生活 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・後援会総会 ・教育実習 ・学院創立記念式典 ・人権同和教育研修会 ・中間考査 ・前期ミッションウィーク | <ul style="list-style-type: none"> ・前期ミッションウィーク ・教育実習 ・学院創立記念式典 ・人権同和教育研修会 ・中間考査 ・後援会総会 ・クラスマッチ |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・前期保護者懇談会 ・期末考査 ・教育研究会 ・教員聖書研究会 | <ul style="list-style-type: none"> ・早朝読書週間 ・保護者面談 ・私立中入試説明会 ・期末考査 ・教育研究会 ・教員聖書研究会 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・人権同和教育特設授業 ・文化祭 ・終業式 ・夏季前期補習 | <ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和授業 ・中体連開会式 ・終業式 ・指定者補習 ・韓国からの旅 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・訪豪研修旅行 ・夏季後期補習 ・私学展 ・夏季教員研修会 | <ul style="list-style-type: none"> ・夏季補習 ・私学展 ・夏季教員研修会 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・スポーツフェスティバル ・オープンキャンパス | <ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・体育大会 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・中間考査 ・2年林間学校 ・1年・3年遠足 | <ul style="list-style-type: none"> ・中間考査 ・学年別遠足 ・同和特設ビデオ授業 ・オープンキャンパス ・合唱発表会 |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・読書週間 ・人権同和教育特設LHR ・後期保護者懇談会 ・後期ミッションウィーク ・教育懇談会 ・期末考査 | <ul style="list-style-type: none"> ・読書週間 ・後期ミッションウィーク ・教育懇談会 ・期末考査 |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・期末考査 ・フェアウェルパーティ ・キリスト教学校教育フェア ・クリスマス礼拝 ・終業式 ・冬季補習 | <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝 ・キリスト教学校教育フェア ・終業式 ・指定者補習 |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・専願入試 ・専願入試合格発表 ・教員聖書研究会 | <ul style="list-style-type: none"> ・指定者補習 ・始業式 ・進路交流会 ・中学校入試 ・中学校入試合格発表 ・教員聖書研究会 |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・前期入試 ・前期入試合格発表 ・後期入試 ・後期入試合格発表 ・期末考査 ・卒業礼拝 | <ul style="list-style-type: none"> ・3年修学旅行 ・入学説明会 ・期末考査 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業式 ・入学説明会 ・終業式 ・訪米研修旅行 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝 ・修了式 ・終業式 ・指定者補習 |

| | (5) 小 学 校 | (6) 舞 鶴 幼 稚 園 |
|-----|--|--|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・入学式 ・新入生オリエンテーション ・アチーブメントテスト ・イースターチャペル ・懇談会 ・ウェルカムアセンブリ ・ホームアセンブリ ・防犯教室 ・ウェルカムピクニック | <ul style="list-style-type: none"> ・始園式 ・入園式 ・教会学校開始 ・1学期父母礼拝開始(全9回) ・イースター礼拝 ・母の会総会 ・家庭訪問 ・未就園児保育、預かり保育開始 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞会(音楽) ・避難訓練 ・創立記念式典 ・学習参観 ・ミッションウィーク ・ネイバーキャンプ(1・2年) ・後援会総会・講演会 | <ul style="list-style-type: none"> ・学院創立記念式典 ・父親参加の日 ・光組社会見学 ・ミニ講演会、育児相談 ・親子遠足 ・親子であそぼう会(全9回) |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・花の日チャペル(施設訪問) ・ネーチャーキャンプ(3・4年) ・個人懇談 | <ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝 ・ミニ講演会、育児相談 ・保育参観、懇談 ・光組社会見学 ・避難訓練(地震) |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・アートウィーク ・学校公開・説明会(西南学院フェア) ・学期末テスト ・懇談会 ・平和学習 ・終業式 | <ul style="list-style-type: none"> ・光組社会見学 ・光組合宿保育 ・1学期終業 ・夏季休暇 ・未就園児対象水あそび(西南学院フェア) ・小1親子同窓会 |
| 8月 | | <ul style="list-style-type: none"> ・夏期保育 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・夏休み作品展 ・入試説明会 ・ヒストリーツアー(5年) | <ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業 ・まいづるまつり ・未就園児対象どろんこあそび ・ミニ講演会、育児相談 ・避難訓練(火災) ・教会学校、2学期父母礼拝開始(全8回) |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバル ・避難訓練 ・ミッションウィーク ・クッキー作り | <ul style="list-style-type: none"> ・新年度入園募集説明会 ・運動会 ・月組お泊り保育 |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・サンクスギビングチャペル ・入学試験 ・合格発表 ・芸術鑑賞会(舞台) ・クリスマスツリー点灯式 | <ul style="list-style-type: none"> ・新入園児願書受付 ・新入園児面接 ・未就園児クラス募集説明会 ・子育て講演会 ・みかん狩り遠足 ・感謝祭礼拝 ・光組社会見学 |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・アートウィーク ・学習参観・懇談会 ・学期末テスト ・クリスマスチャペル ・終業式 | <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝 ・クリスマス祝会 ・もちつき大会 ・2学期終了 ・冬期休暇 |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・新1年生入学説明会 ・ブレインオリンピック | <ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業 ・教会学校、3学期父母礼拝開始(全5回) ・避難訓練(不審者) |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・アートウィーク ・学習発表会(2～5年) ・ウィングツアー(6年) | <ul style="list-style-type: none"> ・春をよぶ会 ・母の会総会 ・光組社会見学 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・学期末テスト ・学習参観・懇談会 ・フェアウェルアセンブリ ・卒業式 ・修了式 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝 ・卒業式 ・終業式 ・新入園児健康診断 ・子ども同窓会 ・カリキュラム研究会 |

| (7) 早緑子供の園 | |
|------------|--|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・入園式 ・イースター礼拝 ・年長児社会見学1 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・春季総合健診 ・学院創立記念式典 ・保育園で遊ぼう1 ・保護者会総会 ・親子遠足 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝 ・幼児クラス保育体験会 ・乳児クラス保育参観開始 ・年長児社会見学2 ・歯科検診 ・育児講座1 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・田植え体験会 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう2 ・さみどりこどもまつり ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・プール開き |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の集い ・お泊り保育説明会 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・お泊り保育 ・保育園で遊ぼう3 ・卒園記念製作 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・おじいさんおばあさんと遊ぶ会 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・年長児社会見学3 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・運動会 ・秋季総合健診 ・交通安全教室 ・稲刈り体験会 |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・感謝祭礼拝 ・幼児クラス遠足 ・新年度入所申し込み書配布、受付開始 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・入園説明会 ・保育園で遊ぼう4 ・保護者会クリーンアップ大作戦 |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・アドベント礼拝 ・ツリー点灯式 ・クリスマスメッセージ ・こひつじクリスマス ・さみどりクリスマス |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生同窓会 ・保育園で遊ぼう5 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・入園説明会 ・新年度入所児発表、面接 |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・年長児社会見学4 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・保育園で遊ぼう6 ・育児講座2 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談会 ・卒園礼拝 ・お別れ会 ・お別れ遠足 ・卒園式 |

学校法人西南学院 所在地

学院本部、西南学院大学（大学院・法務研究科を含む）

〒814-8511

福岡市早良区西新六丁目2番92号 電話 092-823-3201

学校法人 <http://www.seinan-gakuin.jp/>

大 学 <http://www.seinan-gu.ac.jp/>

西南学院中学校・高等学校

〒814-8512

福岡市早良区百道浜一丁目1番1号 電話 092-841-1317

<http://www.seinan.ed.jp/hs/>

西南学院小学校

〒814-8513

福岡市早良区百道浜一丁目1番2号 電話 092-841-1600

<http://www.seinan.ed.jp/es/>

西南学院舞鶴幼稚園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番1号 電話 092-751-6650

<http://www.seinan-gu.ac.jp/youchien/>

西南学院早緑子供の園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番5号 電話 092-761-3408

<http://www.seinan-gu.ac.jp/hoikuen/>